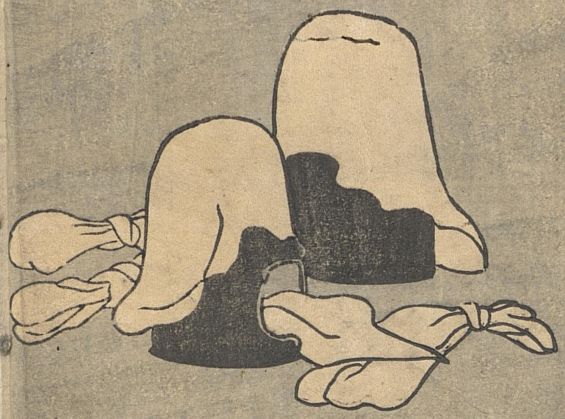
女房形氣
九篇壹

たゝく草
女房形氣
九編之上
京山作
芳玉畫
彫工佐吉
山田孫梓



かのまいてづゝふ大馬の歡をかさねてまゝ〻九〻の表ホ
遇ひぬ業須反南の巷に書られて脛ハ赤そたをとと
ゝもど家山業ハ大抵食ハ裘衣をかさねて寒をとわを
を軽羅をまゝひて暑をまゝぞ身の程よ知てゝ
足ざる而ゝ〻ゝ心ゝ織て衣ゝ〻茅を耕して食を
謂ふめる王勃ゞ比舍ハ住ざまゝども下ゐの模好書
賈の催促ゝも辭ゝがゝく彼も棄ゞゝてまゝ〻も
ゝ女房形氣の九編を作りて孔催促ゝ与ハ

嘉永二年 乙酉之春稿本 時年八十一
同晩秋上梓庚戌 新版 山東翁京山

女房形気九編初編

小ごと

小ごとゞ子

万太郎

ろくを

あひくの

あく玉不女
あひよの

三脚
四脚
あくび
あひよ
あくび
あひよの
四脚

鶴前絵
吸物膳十人前
ひとでん
おちよ

おとく
なんぢの二さ

七脚
ろくでなし
あとと
あとと

嘉永三庚戌春新版目録

品定五人娘 京山作 豊国画 初編二編	源氏雨夜の品さだめ五人の娘なのむくふ世をすくふ幸をまつ	雛鶴笹湯寿 京山作 豊国画 全一冊	だにもち大形なるうさぎとかろくあげめでたさ也と祝ふまでのなりとかきたるなれば雛みあげめ上さ右ちう
教草女房形氣 同作 同画 八編 九編		ちゑ塚物がたり 同作 同画 三編 大尾	新撰狂句會 初篇 二篇 一立斎廣重画
恋つゞめ稲妻艸紙 玉川亭調布作 錦朝楼芳虎画 初編ヨリ五編マテ 大尾		忠臣蔵 好古斎主人作 芳虎画 二冊	江戸中橋廣小路 山田屋庄兵衛板